

魅力あるまちを次の世代に引き継ぐために

平成29年度の一般会計当初予算額は、前年度と比べ2.8%増の1,448億円、特別会計、公営企業会計と合わせた全会計では2,419億7,500万円です。

福祉や医療、公共施設の老朽化対策などさまざまな事業に取り組み、安心して快適に暮らせる魅力あるまちづくりのための予算となっています。

☎334・1110 財政課



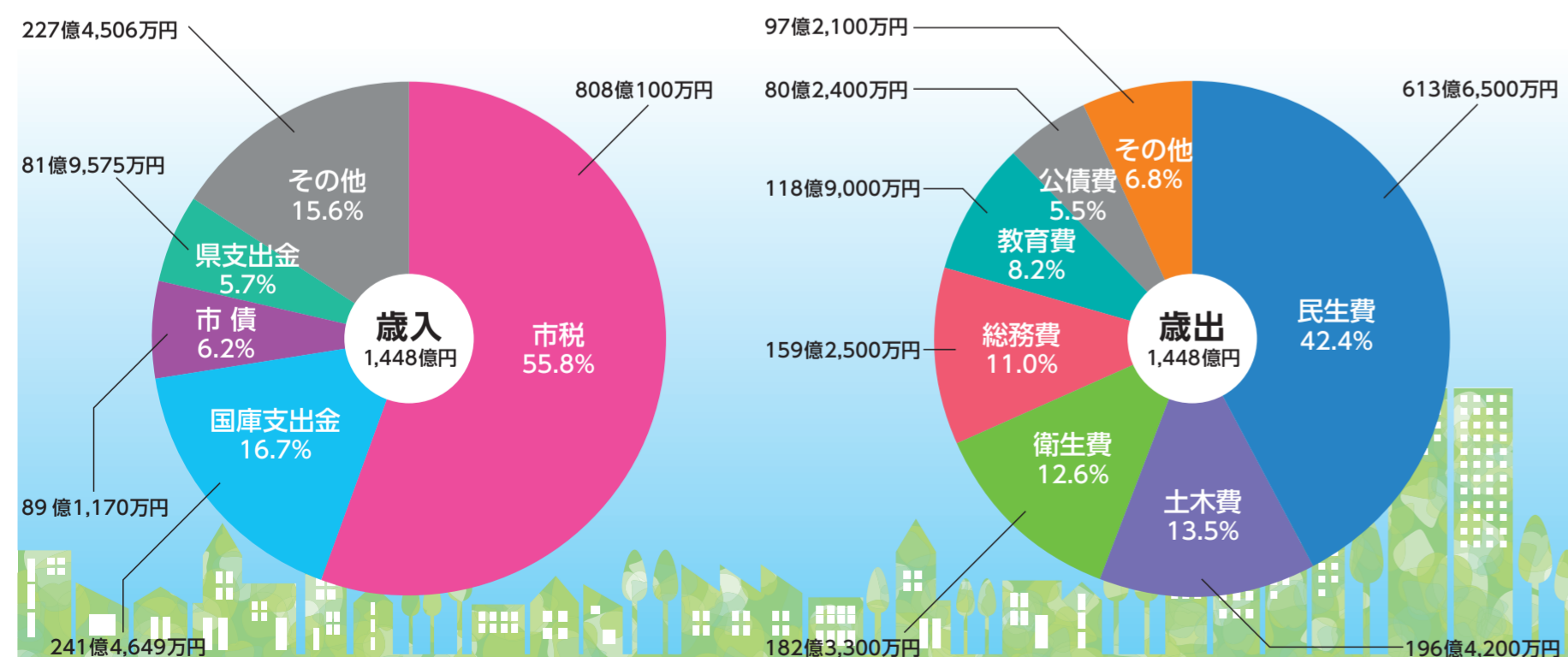
平成29年度当初予算

一般会計	1,448億円	(対前年度比2.8%増)
特別会計	951億8,300万円	(対前年度比0.9%減)
公営企業会計	19億9,200万円	(対前年度比2.5%増)
全会計	2,419億7,500万円	(対前年度比1.3%増)

一般会計：福祉や道路、教育など市の基本的な事業を行うために設けられた会計。
特別会計：国民健康保険税などの特定の収入をもって特定の事業の費用に充てるため設けられた会計。
公営企業会計：地方公共団体が経営する公益的な事業のために設けられた会計で、本市では病院事業会計が該当します。

一般会計の内訳と市民1人あたりの予算額

一般会計 市民1人あたり一般会計予算額 **301,200円** (295,451円) ●予算額を人口480,744人(平成28年12月末時点)で割って算出()内は前年度金額



一般会計における主な事業

<h3>民生費</h3> <p>高齢者・児童の福祉など 市民1人あたり127,646円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●保育園整備計画事業 8億842万円 待機児童を減らすため、民間事業者が実施する施設整備などに対して、その一部を補助し、保育施設の充実を図ります。 ●保育士確保対策事業 新規 3,486万円 民間保育施設の保育士確保のため、就業開始資金の支給や宿舍を借り上げる際の費用の一部助成を行います。 ●子育て世帯同居・近居スタート応援補助金 3,000万円 子育て世帯とその親世帯が同居または近居をスタートするための住宅購入などに対し、その費用の一部を助成します。 ●生きがい事業 5,197万円 長寿ふれあいフェスティバルや明青年展の開催、敬老祝金の支給など高齢者の生きがいづくりの充実を図ります。 ●基幹相談支援センター事業 4,800万円 多様化するニーズに対応するため、障害者の基幹相談支援センターを急病診療・ふれあいセンターに加え、行徳支所にも開設します。 	<h3>土木費</h3> <p>道路、河川、公園の整備など 市民1人あたり40,858円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●庁舎整備事業 73億3,714万円 新第2庁舎の供用を開始するとともに、新第1庁舎建設工事に着手します。 ●都市計画道路整備事業 7億9,981万円 都市計画道路3-6-32号及び3-4-12号の整備に必要な用地の取得等を行います。 ●道の駅整備事業 5億1,018万円 外環道路沿いの国分地区に「道の駅」を整備します。 ●国分川調節池上部活用事業 1億4,440万円 国分川調節池の自然ふれあい広場の観察園路や観察デッキなどの整備を行います。
<h3>衛生費</h3> <p>医療、保健、ごみ処理など 市民1人あたり37,927円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●資源化促進事業 24億5,511万円 4月からのごみ回収回数削減に伴い、さらなる家庭ごみの12分別の徹底を図り、ごみの減量と資源化を進めます。 ●大気汚染対策事業 5,578万円 既存測定局を移設することにより、平成29年度末に開通予定の外環道路を含めた市内8カ所での大気環境の常時監視を行います。 ●予防接種事業 13億7,355万円 新たに定期接種化されたB型肝炎予防接種を含む計14種類の予防接種を行います。 ●子育て世代包括支援事業(アイティ) 1,504万円 母子保健相談窓口アイティを設置し、妊娠期から子育て期の相談支援や母子健康手帳の交付、マイプランの作成を行います。 ●次期クリーンセンター施設整備計画 5億8,531万円 平成36年度に稼働予定の次期クリーンセンター整備に向け、事業手法の検討、基金の積み立てなどを行います。 	<h3>総務費</h3> <p>文化振興や情報化の推進など 市民1人あたり33,126円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ施設整備改修事業 4億9,088万円 安全・安心な施設を提供するため、塩浜市民体育館の天井耐震化などの改修工事を行います。 ●防犯灯設置事業 1億円 防犯灯のLED化を進めるため、自治会へ補助金を交付します。 ●文化イヤー事業 新規 2,345万円 文化・芸術に触れ親しむ機会を創出するため、29年度を「文化イヤー」と称し様々なイベントを実施します。 ●行徳地区の歴史と文化を活かしたまちづくり事業 新規 1億1,570万円 旧浅子神輿店の改修など、行徳地区に新たな観光施設を整備します。 ●台風災害等対策事業 584万円 台風・大雨などに備え、自由に土のうを取り出せる「地域型小規模土のうステーション」の設置地区を拡大するほか、消防団などに緊急救助用ボートを配備します。
<h3>教育費</h3> <p>学校や公民館、図書館など 市民1人あたり24,732円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●放課後保育クラブ運営事業 12億5,648万円 放課後保育クラブの増設や整備充実に向け、児童の健全な育成を図ります。 ●外国語指導助手派遣事業 6,955万円 市立全小・中学校及び義務教育学校にALT(外国語指導助手)を派遣し、英語教育及び国際理解教育の推進を図ります。 ●ライフカウンセラー設置事業 5,509万円 市立全小・中学校及び義務教育学校にライフカウンセラーを配置し、児童・生徒の悩みに対して適切に対応します。 ●校内塾・まなびくらぶ事業 1,400万円 市立全小・中学校及び義務教育学校において、「まなびサポーター」による、放課後や長期休業中を利用した学習機会を設けます。 ●道徳教育推進事業 新規 200万円 平成30年度から道徳が教科になることに備え、道徳教育を推進し、規範意識の向上を図ります。 	<h3>その他</h3> <p>産業振興・消防・議会関連費など 市民1人あたり20,220円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市川漁港整備事業 9億6,139万円 安全で効率的な漁業活動ができるよう、28年度に引続き市川漁港整備工事を行います。 ●消防防災施設整備事業 2億3,370万円 高谷出張所と第一分団車庫兼詰所の建て替え工事を行います。 ●地域消費喚起事業 新規 2,390万円 地域経済を活性化するため、市内の飲食店で使用できる33%のプレミアム付き「市川市ふれあいグルメ券」を発行します。 ●地域ブランド活性化事業 313万円 「市川のなし」をはじめとする地域資源を活用した商品の開発を推進し、積極的なPRを行います。
<h3>公債費</h3> <p>借入金の返済 市民1人あたり16,691円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●元金 74億3,377万円 ●利息 5億9,023万円 	